

平成 28 年 3 月 9 日

**ZAPPALLAS**

各 位

会 社 名 株式会社ザッパラス  
代表者名 代表取締役会長兼社長 川嶋 真理  
(コード番号 3770 東証第一部)  
問合せ先 取締役 小林 真人  
T E L 03-6434-1036(代表)

**業績予想の修正、配当予想の修正、営業外費用及び特別損失の発生、  
並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 6 月 12 日に公表した平成 28 年 4 月期通期(平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日)の業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 4 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日)において、下記のとおり特別損失(のれんの減損損失)を計上いたしました。これに伴い繰延税金資産の取崩しを行うとともに、単体決算において関係会社貸倒引当金繰入額及び関係会社株式評価損が発生する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 4 月期 連結業績予想の修正について(平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,450	百万円 0	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回修正予想(B)	5,514	132	83	△589	△46.26
増減額(B-A)	△1,936	132	-	-	-
増減率(%)	△26.0%	-	-	-	-
(参考)前期連結実績 (平成 27 年 4 月期)	7,581	516	728	242	19.02

2. 業績予想の修正の理由

売上高につきましては、モバイルサービス事業の主力の占いサービスにおいて、下期以降アプリを中心とした新しい形式の占いサービスの提供を予定しておりましたが、開発遅延に加え、先行サービス投入後課金率等いくつかの指標となる数値が当初の想定に届かなかったことから、サービス設計の見直しや戦略の変更を行った結果、後続サ

ービスのリリーススケジュールが大幅に遅れる見込みとなりました。

またゲームにおいても、下期において4タイトルの新規アプリ投入による売上高の増加を見込んでおりましたが、開発遅延及びサービス設計の見直しが重なったことにより、リリーススケジュールが大幅に遅れ、3タイトルの売上が来期以降にずれ込む見込みとなりました。

さらに、上記要因に加え、当第2四半期連結会計期間において、株式会社 caramo の株式を売却したことに伴う売上高の減少も影響し、売上高が予想を大きく下回る見込みとなりました。

営業利益につきましては、新規サービス投入の遅延等により広告宣伝費等コストが計画を下回って推移したことから、当初の計画を上回る見込みとなりました。

また経常利益、当期純利益、一株当たり当期純利益につきましては、前回業績予想を公表しておりませんでした。売上高及び営業利益の減少により経常利益が前期実績を大きく下回る見込みとなりました。さらに平成 28 年4月期第3四半期連結会計期間において当社の連結子会社に減損損失が発生することとなり特別損失を計上することに加え、これに伴う繰延税金資産の取崩しを行った結果、当期純利益、一株当たり当期純利益が前期実績を大幅に下回る見込みとなりました。

※上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

### 3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
前回予想 (27 年6月 12 日発表)		-	-
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	0.00		
(参考)前期連結実績 (平成 27 年4月期)	0.00	10.00	10.00

### 4. 配当予想の修正の理由

当社は株主に対する利益還元と、新たな事業展開に備えるために必要な内部留保のバランスを保つことが重要であると考えております。

現在当社は主力のモバイルサービスに経営資源を集中し、将来にわたって持続的な競争力を確保することが最優先の経営課題となっており、平成 28 年4月期の配当予想につきましてはこれまで未定としておりましたが、上記業績予想の修正や特別損失の計上、事業投資の進捗度合等を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら無配に修正させて頂

きます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績の回復を目指して努力いたす所存でございますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

#### 5. 単体業績に係る営業外費用の発生について

連結子会社 Zappallas,Inc.(U.S.)について固定資産の減損に係る会計基準に基づき減損処理を行ったことから、当社単体決算において関係会社長期貸付金に対し貸倒引当金繰入額 220 百万円を営業外費用として計上する見込です。

金融商品に関する会計基準では、比較的短期での回収可能性を要求されることとなり、監査法人と協議した結果、保守的にこのような処理をすることといたしましたが、当社といたしましては Zappallas,Inc.の事業は安定しており、長期的には米国市場での成長可能性があると考えているため、貸付金の回収見込は十分であると判断しております。

なお当該貸倒引当金繰入額につきましては、連結決算上相殺消去されるため連結財務諸表に与える影響はございません。

#### 6. 特別損失の発生について

##### (1) 連結子会社減損損失の発生及びその内容について

当社が平成 24 年 12 月に連結子会社化した Zappallas,Inc.(U.S.)は、米国 NameMedia,Inc.より、同社傘下にて古い事業を担う Daily Insight Group を譲り受け、米国において古いコンテンツビジネスを展開しております。当社は日本国内において提供する古いコンテンツの運営ノウハウの投入や海外展開等による同社の成長を見込んでおりましたが、近年の日本国内における急激な市場環境の変化に対応するため、経営資源を主力の国内モバイルサービス事業に集中させたこともあり、同社の業績が当初計画から乖離したため、今後の計画を慎重に見直した結果、当社連結子会社 Zappallas,Inc.において減損損失 6,430 千 USドル(約 782 百万円、為替レート 121.75 円)を特別損失として連結決算において計上することとなりました。

##### (2) 単体業績に係る関係会社株式評価損の発生について

Zappallas,Inc.(U.S.)のれんの減損損失の計上に伴い、当社が保有する同社株式について、当社単体決算において関係会社株式評価損 412 百万円を特別損失として計上する見込です。

なお関係会社株式評価損は、連結決算上相殺消去されるため連結財務諸表に与える影響はございません。

##### (3) 子会社の概要

(1) 名称	Zappallas,Inc.
(2) 所在地	米国オレゴン州
(3) 代表者の役職・指名	CEO 小楠裕彦
(4) 事業内容	米国における古いコンテンツビジネス等

(5) 資本金	4,500 千 USドル
---------	--------------

7. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は税効果会計にかかる会計基準に従って繰延税金資産を計上しておりますが、将来の回収可能性を検討した結果、Zappallas,Inc.において繰延税金資産を取崩し、連結において855千USドル(約104百万円、為替レート121.75円)の法人税等調整額(損)を計上いたします。

以 上